

第53回「全国漆器展」

～ 審査講評～

会 期： 平成30年10月4日（木）～17日（水）※審査会は4日（木）

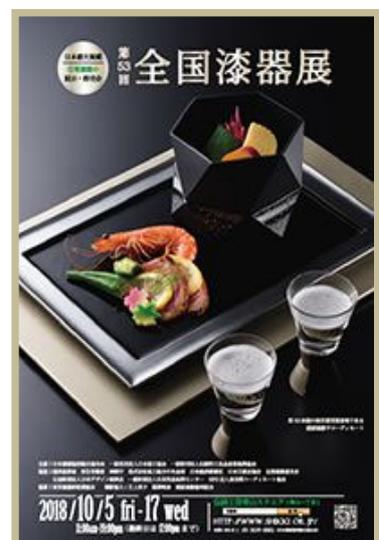
会 場： 伝統工芸青山スクエア
〒107-0052 東京都港区赤坂 8-1-22

出展産地：	青 森 県（津 軽 塗）	秋 田 県（川連漆器）
	福 島 県（会 津 塗）	福 島 県（喜多方漆器）
	東 京 都（江戸漆器）	長 野 県（木曾漆器）
	新 潟 県（村上木彫堆朱）	富 山 県（高岡漆器）
	石 川 県（輪 島 塗）	石 川 県（山中漆器）
	石 川 県（金沢漆器）	福 井 県（越前漆器）
	和歌山県（紀州漆器）	香 川 県（香川漆器）

主 催： 日本漆器協同組合連合会
一般社団法人日本漆工協会
一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会

後 援： 経済産業省 ・ 厚生労働省 ・ 林野庁
日本経済新聞社 ・ (株)商工組合中央金庫
公益財団法人日本デザイン振興会
一般財団法人生活用品振興センター
日本百貨店協会 ・ 全国漆業連合会
NPO 法人食空間コーディネイト協会

協 賛： 東京漆器卸商業組合





農林水産大臣賞
[オードブル容器]
岡山至鳳堂(輪島塗)

菱形、五角形、六角形で構成された朱と黒の塗り立ての器。シンプルにまとめ上げているが、内容品の黒い器の位置を変えると多様な使い方ができ、良く考えられた遊び心のある作品。朱と黒という伝統的な色の合わせだが、古さを感じさせず、寧ろ現代的である。塗り立ては難易度が高いが、本作品は上品な艶と塵のない表面に仕上がりに、技術力も申し分ない優作である。



林野庁長官賞
[宴重(菊詰紋)]
株式会社岡垣漆器店(輪島塗)

作品名を「宴重」としているが、実際に本作品は華やかな楽しい場で使いたくなるお重に仕上がっている。全面に色々な種類の菊を色漆で表現し、その上に蒔絵と沈金で装飾された巧緻を極めた作品。様々な技法を駆使することで、嫌味な感じになりがちだが、本作品は可愛らしく小気味好い。応募作品の中でも伝統的なスタイルではあったが、緻密な装飾と華やかな色使いに審査員の票が集まった。



日本経済新聞社賞
[青貝塗杉田色紙箱 幾何学模様]
野村 毅史(高岡漆器)

杉田(そまた)細工とは螺鈿細工の1つの技法のこと、刃物で薄貝を幾何学的な模様になり、金や銀の切金と組み合わせ文様を作る技法である。本作品は薄貝の厚さと黒漆面が同一面で、貝の厚みまで何度も漆を塗り重ねており仕上げが美しい、仕事の丁寧さが作品の魅力につながっている。デザインの面では幾何学的な模様がもう少し細かく表現されていると尚良い。



一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会賞
[ドーム型多用椀 外錫内黒]
梶原 伸夫(越前漆器)

今年、開催されている福井国体の会場の1つであるサンドーム福井をイメージした器。しかし一見、昔話の分福茶釜に出てくる可愛らしい茶釜のようにも見える。思わず笑顔になってしまう造形で票が集まった。外側は錫粉を蒔いて金属質に仕上げ、内側は黒漆の塗り立てで仕上がっている。ユーモアな造形でありながらも、しっかりとした仕事が行なわれている優作である。



全国漆業連合会会長賞
[宝石箱]
有限会社角知漆器店(輪島塗)

玉虫の羽の色が輝き、白漆の上に描かれた天使や植物は西洋的な雰囲気、他の応募作品とは違う空気感を出していた。内側は漆塗りの仕上げではなく、布が貼られており宝飾品を入れることを考慮している。仕事が美しく繊細、巧みな蒔絵技術を有し、題名の宝石箱の通り気品ある仕上がりになっている。



一般社団法人日本漆工協会会長賞
[ドビッシーによせて!!]
松田 眞扶(越前漆器)

折敷、または直に料理を盛るプレートの器。5枚組の作品で月の満ち欠けが表現され時の流れを感じる。研出蒔絵の月と波、縁には薄貝螺鈿が施されており真珠層の輝きは静かな水辺を感じる。題名の「ドビッシーによせて」とあるようにドビッシー「月の光」の曲が流れてきそうな品のある作品に仕上がっている。



審査員特別賞
[堆朱塗り ベースギター]
未空うるし芸 岩原裕右(木曾漆器)

昔の日本の楽器の鼓や琴には漆が塗られ、蒔絵を施されていた。本作品は木曾産地の伝統技法である木曾堆朱、呂色磨き、木曾春慶の要素を西洋楽器のベースギターに施し、漆の新しい提案として面白い。音を作るベースギター、漆を塗ることで音に影響が生まれるのか大変興味深い。技術的にも完成度の高い作品に仕上がっている。



奨励賞
[「金魚」蒔絵吹雪]
株式会社うるしアートはりや(山中漆器)

茶器の形(吹雪)の特徴を生かし、側面には横から見た金魚を蒔絵で描き、蓋の上面には上から見た金魚と波紋を薄貝螺鈿で表現している。技術的な面で高く評価された作品。描かれている金魚の鱗の動きなど、柔らかく伸びやかな線が用いられると尚良かった。



奨励賞
[乾漆木ノ葉皿 波光]
前田 利榮(越前漆器)

作品の題名にある乾漆とは、材料に漆と麻布と土を用いる。利点は、自由に造形ができ軽量に仕上げられる。また湿度変化での変形や割れなどがない点が挙げられる。しかしながら大変時間がかかる技法である。本作品は、繊細に描かれている波の描写が魅力につながっている。デザインの面で木ノ葉の形、蒔絵の面積に拘ると尚良かった。



奨励賞
[菊彫 大鉢 根来]
株式会社山加荻村漆器店(木曾漆器)

木材は直径45cmの檜、大胆に鑿彫りした木地に根来塗りて仕上げた重厚感のある作品。鑿跡を見ると、造形のスปีド感、人が物を造る力を感じ、美しくもあるが生々しく見え、そこが評価された。審査会場は蒔絵や螺鈿、塗り立てや呂色磨きといった繊細な作品が多い中で、また違った漆の力、木の持つ力を感じた作品であった。

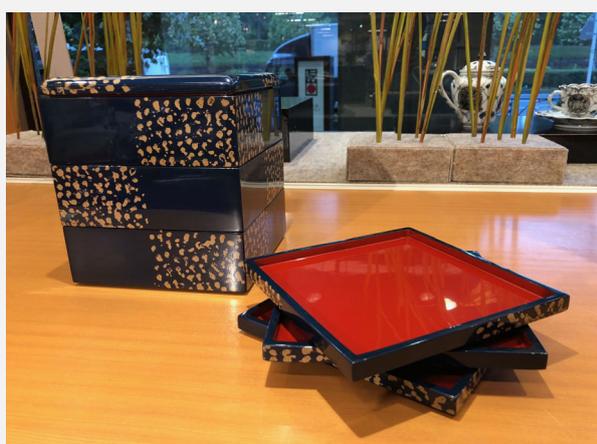
平成30年10月4日

第53回「全国漆器展」個人賞（美術工芸品部門）

賞名	出品番号	品名	出品者	産地組合名
農林水産大臣賞	1010	オードブル容器	岡山至真堂	韓島漆器商工業協同組合
林野庁長官賞	1005	宴重(菊蒔紋)	岡垣漆器店	韓島漆器商工業協同組合
日本経済新聞社賞	903	青貝塗杣田色紙箱 幾何学模様	野村毅史	伝統工芸高岡漆器協同組合
一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会賞	1303	ドーム型多用椀 外錫内黒	梶原伸夫	越前漆器協同組合
全国漆業連合会会長賞	1002	宝石箱	俣角知漆器店	韓島漆器商工業協同組合
一般社団法人日本漆工協会会長賞	1302	ドピッシーによせて!!	松田真扶	越前漆器協同組合
審査員特別賞	602	堆朱塗り ベースギター	未空うるし工芸	木曾漆器工業協同組合
奨励賞	1102	「金魚」蒔絵雪吹	轉うるしアートはりや	山中漆器連合協同組合
奨励賞	1305	乾漆木ノ葉皿 波光	前田利榮	越前漆器協同組合
奨励賞	604	菊彫 大鉢 根来	佛山加荻村漆器店	木曾漆器工業協同組合

産地組合名	出品番号	品名	出品者	作品合計				
				市場性	デザイン性	技術力	選定P	小計
韓島漆器商工業協同組合	1010	オードブル容器	岡山至真堂	12	20	14	40	86
韓島漆器商工業協同組合	1005	宴重(菊蒔紋)	岡垣漆器店	4	14	20	40	78
伝統工芸高岡漆器協同組合	903	青貝塗杣田色紙箱 幾何学模様	野村毅史	10	14	10	40	74
越前漆器協同組合	1303	ドーム型多用椀 外錫内黒	梶原伸夫	13	13	11	30	67
越前漆器協同組合	1302	ドピッシーによせて!!	松田真扶	5	15	13	30	63
韓島漆器商工業協同組合	1002	宝石箱	俣角知漆器店	9	9	13	30	61
木曾漆器工業協同組合	602	堆朱塗り ベースギター	未空うるし工芸	7	11	9	30	57
山中漆器連合協同組合	1102	「金魚」蒔絵雪吹	轉うるしアートはりや	5	11	11	30	57
越前漆器協同組合	1305	乾漆木ノ葉皿 波光	前田利榮	5	9	11	30	55
香川県漆器工業協同組合	1501	乾漆ウェーブ盛皿	漆工房 北山	9	9	5	30	53
木曾漆器工業協同組合	604	菊彫 大鉢 根来	佛山加荻村漆器店	7	9	5	30	51
会津漆器協同組合	301	Aizu flat(ランチプレート)	古川勝規	3	11	7	30	51

美術工芸品部門審査結果（上位12作品）



経済産業大臣賞
[重箱(取り皿付)]
秋元 勝彦(津軽塗)

産業工芸品部門の審査でダントツに票を集めたのがこの作品。デザイン、機能、サイズ感など全てにおいて審査員の心をつかみました。特に繊細な藍色に対する評価がとて高かったです。小ぶりの重箱に同じ意匠の取り皿も含めてセットとなっており、値頃感があります。欲しい！と思わせる逸品です。



経済産業省製造産業局長賞
[KISEN シリーズ波・鋸・段・直
(共木付薬籠構造茶筒)]
株式会社我戸幹男商店(山中漆器)

一見すると木製オブジェのように見えますが、実はこれ「茶筒」です。シンプルでありながら美しい造形が審査員に高く評価されました。それぞれ異なる4つのかたち。緑茶はもちろん、ハーブティーや紅茶などいろいろな種類の茶葉を入れて、お茶の時間が楽しくなりそうです。



株式会社商工組合中央金庫社長賞
[二人用象谷塗セット]
一和堂工芸株式会社(香川漆器)

漆器には、やはり漆器らしさを求めるものなのかもしれません。この作品は漆器としての見た目の安心感があり、また完成度に対する値頃感から審査員の高い評を得ました。2組セット(2人用)ということで、夫婦、親子、または恋人同士での使用を想定しているのでしょうか。繊細な色の差にも注目です。



公益財団法人日本デザイン振興会賞
[「あざみ丸」タメ塗(引出し)朱クシ目漆塗]
株式会社森繁(香川漆器)

高級家具のようなたたずまいがあり品が高く、細かいディテールに生産者の相当のこだわりを感じます。創り手の、作品に対する愛を感じます。とても高価ではありますが、後世にまで残る漆の作品。良いものを長く使いたいという気持ちにさせられます。



一般財団法人生活用品振興センター理事長賞
[一尺四寸五分大皿]
井上漆器店(川連漆器)

とても大きなお皿です。シンプルではありますが、シンプルが故に様々な使用シーンが想像出来ます。表面の処理はもちろんのこと、裏までとても綺麗に制作されており、造形も含めよく計算されているなど感心します。



日本百貨店協会会長賞
[漆磨二重(中空式)ダルマカップ 箔衣
和紙コースター付]
株式会社ウチキ(山中漆器)

現在注目されている中空式カップ。表面は金箔を纏い、拭き漆で仕上げられています。シンプルな造形でありながらも機能性も兼ね揃え、とても美しいカップ。和製コースター付きで値頃感もあり、2個、3個と欲しくなります。



NPO 法人食空間コーディネート協会賞
[くるむ]
土田 直東(越前漆器)

作品名「くるむ」。まるで器が器をくるんでいるような、可愛らしい食器セットです。重ねた時の収まりがよく、見た目の愛らしさから食器棚に入れた時も部屋を素敵に演出してくれそうです。



日本漆器協同組合連合会理事長賞
[胡桃足膳 月の宴]
成美 嘉宣(越前漆器)

丸皿には月の満ち欠け。そしてその月に照らされて印象的に光る薄雲。現代において月明かりをゆっくりと楽しむ時間はそう無いかもしれませんが。このお皿を見ていると、そういう時間も必要だな、と気づかされます。インテリアとして飾ることで、部屋の空気が心地良く感じられそうです。



審査員特別賞

[漆箱 櫛]

秋田・川連塗 寿次郎(川連漆器)

市松模様を切り取ったかのような、大胆でモダンなデザイン、クオリティーの高い仕上げは現代住宅にも調和することでしょう。引き出しは4つ。左下の大きい引き出しは構造的に開けづらいですが、内部には隠し引き出しもあり、大切なものをしまっておくのに良さそうです。



奨励賞

[十角盛器]

小田 勝義(越前漆器)

10角形をした大皿で、とても迫力があります。作品のダイナミックさと共に、漆ならではの繊細さ、緊張感が加われば、この作品の魅力が更に増すだろうと感じます。



奨励賞

[変り塗お椀]

大森 茂光(会津塗)

典型的であり、実に漆器らしいと感じます。丁寧な仕事により完成されたお椀は、所有する喜びがあります。



奨励賞

[ホリデーズディッシュ 存清 オリーブ]

株式会社川口屋漆器店(香川漆器)

とても仕事が丁寧であり、美しいお皿です。縁にはオリーブが描かれており、和のパスタなどとても似合いそう。食事の時間が楽しくなりそうです。

第53回「全国漆器展」個人賞（産業工芸品部門）

賞名	出品番号	品名	出品者	産地組合名
経済産業大臣賞	5	重箱(取り皿付)	秋元勝彦	青森県漆器協同組合連合会
経済産業省製造産業局長賞	1105	KISENシリーズ 波・鋸・段・直 (共木付築籠構造茶筒)	株式会社野男商店	山中漆器連合協同組合
株式会社商工組合中央金庫社長賞	1505	2人用象谷塗セット	一和堂工芸株式会社	香川県漆器工業協同組合
公益財団法人日本デザイン振興会賞	1510	「あざみ 九」タメ塗(引出し) 朱クシ目漆塗	株式会社藤森繁	香川県漆器工業協同組合
一般財団法人生活用品振興センター理事長賞	103	1尺4寸5分大皿	井上漆器店	秋田県漆器工業協同組合
日本百貨店協会会長賞	1107	漆磨二重(中空式)ダルマカップ 箔衣 和紙コース	株式会社ウチキ	山中漆器連合協同組合
NPO法人食空間コーディネート協会賞	1310	くるむ	土田直東	越前漆器協同組合
日本漆器協同組合連合会理事長賞	1306	胡桃足踏 月の宴	成美嘉宣	越前漆器協同組合
審査員特別賞	102	漆箱 樺	秋田・川連塗 寿次郎	秋田県漆器工業協同組合
奨励賞	1307	十角盛器	小田勝義	越前漆器協同組合
奨励賞	310	変り塗お椀	大森茂光	会津漆器協同組合
奨励賞	1506	ホリデーズディッシュ存清 オリーブ	株式会社川口屋漆器店	香川県漆器工業協同組合

産地組合名	品番	品名	出品者	作品合計				
				市場性	デザイン性	機能性	選定P	小計
青森県漆器協同組合連合会	5	重箱(取り皿付)	秋元勝彦	21	19	21	50	111
山中漆器連合協同組合	1105	KISENシリーズ 波・鋸・段・直 (共木付築籠構造茶筒)	株式会社野男商店	15	13	15	30	73
香川県漆器工業協同組合	1505	2人用象谷塗セット	一和堂工芸株式会社	10	12	10	40	72
越前漆器協同組合	1310	くるむ	土田直東	13	15	13	30	71
香川県漆器工業協同組合	1510	「あざみ 九」タメ塗(引出し) 朱クシ目漆塗	株式会社藤森繁	11	11	13	30	65
秋田県漆器工業協同組合	103	1尺4寸5分大皿	井上漆器店	9	13	13	30	65
山中漆器連合協同組合	1107	漆磨二重(中空式)ダルマカップ 箔衣 和紙コース	株式会社ウチキ	13	9	13	30	65
秋田県漆器工業協同組合	102	漆箱 樺	秋田・川連塗 寿次郎	9	13	7	30	59
越前漆器協同組合	1306	胡桃足踏 月の宴	成美嘉宣	7	9	9	30	55
越前漆器協同組合	1307	十角盛器	小田勝義	9	9	7	30	55
会津漆器協同組合	310	変り塗お椀	大森茂光	6	10	10	20	46
香川県漆器工業協同組合	1506	ホリデーズディッシュ存清 オリーブ	株式会社川口屋漆器店	6	10	8	20	44
会津漆器協同組合	309	銀天 天目椀	富樫孝男	8	8	8	20	44

産業工芸品部門審査結果（上位13作品）

【審査方法】

各産地より予備審査で選出された「美術工芸品部門34作品」、「産業工芸品部門50作品」を対象として、各部門の審査員は、以下の評価ポイントなどを勘案し審査を実施した。

審査部門	出品内容	出品条件	評価ポイント			
			市場性	デザイン性	技術力	機能性 (日常性)
			「売れる」観点での評価			
			販売ターゲットが明確 価格設定が優れている	見た目に美しい 使い勝手に優れている	卓越した技術力、伝統的な技法の採用 革新的な技術の採用	現在のライフスタイルにあった機能の保持 新たな提案
美術工芸品	漆器	新作 少量品	◎	◎	◎	○
産業工芸品	漆器 合成漆器	新作 量産品	◎	◎	○	◎

評価ポイント毎に「非常によい」「よい」「ふつう」の3段階で評価した上で、審査員は担当部門の10品を選出し、各部門の総得票数の上位12作品程度を最終候補作品とし、以下の順で個人賞を決定した。

- 得票数上位3作品は、得票数上位より、各大臣賞以降の3つの各賞を決定した。
- 得票数4位から12位の作品については、以下の手順で各賞を決定した。
 - 団体賞については、選定Pが同数の作品の中から各団体の活動内容や特徴に合った作品とのマッチングを行い決定。
 - 審査員特別賞、奨励賞については、残りの最終候補作品での決戦投票を行い決定。

団体賞受賞産地組合

賞名	産地組合名	総得点
桂宮賞	越前漆器協同組合	536
内閣総理大臣賞	輪島漆器商工業協同組合	401
日本経済新聞社賞	木曾漆器工業協同組合	345

産地組合別ポイント集計表

産地組合名	美術工芸品部門					産業工芸品部門					合計	受賞 加点	総得点
	市場性	デザイン性	技術力	選定P	小計	市場性	デザイン性	機能性	選定P	小計			
越前漆器協同組合	35	47	53	130	265	35	43	33	110	221	486	50	536
輪島漆器商工業協同組合	43	63	65	170	341						341	60	401
木曾漆器工業協同組合	23	27	23	90	163	32	30	30	80	172	335	10	345
香川県漆器工業協同組合	20	22	12	60	114	28	36	32	100	196	310	25	335
山中漆器連合協同組合	12	18	14	60	104	32	28	32	80	172	276	35	311
青森県漆器協同組合連合会						39	41	41	110	231	231	30	261
伝統工芸高岡漆器協同組合	11	15	13	50	89	15	31	21	70	137	226	10	236
秋田県漆器工業協同組合						27	37	33	90	187	187	15	202
会津漆器協同組合	3	11	7	30	51	20	22	24	60	126	177	5	182
村上堆朱事業協同組合	3	5	3	10	21						21	0	21
金沢漆器商工業協同組合	0	0	0	0	0						0	0	0

団体賞受賞産地組合と産地組合別ポイント集計表



会場風景

第53回「全国漆器展」審査員名簿（敬称略・順不同）

審査員長	東京藝術大学 参与 名誉教授 三田村有純	
部門	産業工芸品	美術工芸品
審査 部門長	東京藝術大学デザイン科 准教授 鈴木 太朗	東京藝術大学工芸科 准教授 青木 宏憧
審査員	経済産業省 製造産業局 生活製品課 企画官 栗田 豊滋	林野庁 林政部 経営課 特用林産対策室長 小島健太郎
	江上料理学院 主幹 江上 種英	公益社団法人全国調理師養成施設協会 専務理事 菅谷 弘文
	株式会社三越伊勢丹 リビング・ソリューションMD 統括部 統括部長 木村 観邦	株式会社世界文化社 取締役 上席執行役員 今井 朗子
	公益財団法人日本デザイン振興会 常務理事 齊藤 光好	一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会 代表理事 安藤 重良
	一般財団法人生活用品振興センター 理事長 長谷川澄雄	一般社団法人日本漆工協会 理事長 玉川 義隆
	日本漆器協同組合連合会 理事長 土田 直	—

「全国漆器展」歴代受賞産地組合一覧（団体賞）

団体賞は、個人賞で獲得したポイントを産地毎に集計した総得点の上位3産地に贈られる賞であり、最優秀団体賞として桂宮賞が贈られます。

回	年	桂宮賞	内閣総理大臣賞	日本経済新聞社賞
1	昭和42(1967)年	会津漆器協同組合連合会	青森県漆器協同組合連合会	東京都漆器商工業協同組合
2	昭和43(1968)年	東京都漆器商工業協同組合	香川県漆器工業協同組合	木曾漆器工業協同組合
3	昭和44(1969)年	東京都漆器商工業協同組合	越前漆器協同組合	秋田県漆器工業協同組合
4	昭和45(1970)年	青森県漆器協同組合連合会	秋田県漆器工業協同組合	越前漆器協同組合
5	昭和46(1971)年	越前漆器協同組合	香川県漆器工業協同組合	会津漆器協同組合連合会
6	昭和47(1972)年	木曾漆器工業協同組合	神奈川県漆器連合会	富山県漆器商工業協同組合
7	昭和48(1973)年	富山県漆器商工業協同組合	富山県漆器商工業協同組合	青森県漆器協同組合連合会
8	昭和49(1974)年	石川県漆器連合会	青森県漆器協同組合連合会	東京都漆器商工業協同組合
9	昭和50(1975)年	長野県木曾漆器工業協同組合	会津漆器協同組合連合会	秋田県漆器工業協同組合
10	昭和51(1976)年	青森県漆器協同組合連合会	東京都漆器商工業協同組合	木曾漆器工業協同組合
11	昭和52(1977)年	木曾漆器工業協同組合	香川県漆器工業協同組合	青森県漆器協同組合連合会
12	昭和53(1978)年	青森県漆器協同組合連合会	会津漆器協同組合連合会	木曾漆器工業協同組合
13	昭和54(1979)年	富山県漆器商工業協同組合	会津漆器協同組合連合会	青森県漆器協同組合連合会
14	昭和55(1980)年	青森県漆器協同組合連合会	山中漆器連合協同組合	富山県漆器商工業協同組合
15	昭和56(1981)年	青森県漆器協同組合連合会	木曾漆器工業協同組合	秋田県漆器工業協同組合
16	昭和57(1982)年	越前漆器協同組合	伝統工芸高岡漆器協同組合	会津漆器協同組合連合会
17	昭和58(1983)年	青森県漆器協同組合連合会	伝統工芸高岡漆器協同組合	会津漆器協同組合連合会
18	昭和59(1984)年	木曾漆器工業協同組合	青森県漆器協同組合連合会	会津漆器協同組合連合会
19	昭和60(1985)年	伝統工芸高岡漆器協同組合	香川県漆器工業協同組合	越前漆器協同組合
20	昭和61(1986)年	伝統工芸高岡漆器協同組合	輪島漆器商工業協同組合	青森県漆器協同組合連合会
21	昭和62(1987)年	会津漆器協同組合連合会	木曾漆器工業協同組合	伝統工芸高岡漆器協同組合
22	昭和63(1988)年	会津漆器協同組合連合会	青森県漆器協同組合連合会	東京都漆器商工業協同組合
23	平成元(1989)年	秋田県漆器工業協同組合	青森県漆器協同組合連合会	香川漆器工業協同組合
24	平成 2(1990)年	越前漆器協同組合	青森県漆器協同組合連合会	香川漆器工業協同組合
25	平成 3(1991)年	青森県漆器協同組合連合会	越前漆器協同組合	会津漆器協同組合連合会
26	平成 4(1992)年	青森県漆器協同組合連合会	木曾漆器工業協同組合	越前漆器協同組合
27	平成 5(1993)年	山中漆器連合協同組合	伝統工芸高岡漆器協同組合	会津漆器協同組合連合会
28	平成 6(1994)年	香川県漆器工業協同組合	輪島漆器商工業協同組合	青森県漆器協同組合連合会
29	平成 7(1995)年	山中漆器連合協同組合	越前漆器協同組合	香川漆器工業協同組合
30	平成 8(1996)年	越前漆器協同組合	輪島漆器商工業協同組合	香川漆器工業協同組合
31	平成 9(1997)年	伝統工芸高岡漆器協同組合	木曾漆器工業協同組合	山中漆器連合協同組合
32	平成10(1998)年	輪島漆器商工業協同組合	秋田県漆器工業協同組合	伝統工芸高岡漆器協同組合
33	平成11(1999)年	香川県漆器工業協同組合	山中漆器連合協同組合	青森県漆器協同組合連合会
34	平成12(2000)年	越前漆器協同組合	秋田県漆器工業協同組合	木曾漆器工業協同組合
35	平成13(2001)年	伝統工芸高岡漆器協同組合	輪島漆器商工業協同組合	香川漆器工業協同組合
36	平成14(2002)年	越前漆器協同組合	山中漆器連合協同組合	伝統工芸高岡漆器協同組合
37	平成15(2003)年	会津漆器協同組合	輪島漆器商工業協同組合	越前漆器協同組合
38	平成15(2003)年	伝統工芸高岡漆器協同組合	越前漆器協同組合	木曾漆器工業協同組合
39	平成16(2004)年	輪島漆器商工業協同組合	越前漆器協同組合	鳴子漆器協同組合
40	平成17(2005)年	越前漆器協同組合	秋田県漆器工業協同組合	輪島漆器商工業協同組合
41	平成18(2006)年	輪島漆器商工業協同組合	香川県漆器工業協同組合	越前漆器協同組合
42	平成19(2007)年	伝統工芸高岡漆器協同組合	越前漆器協同組合	山中漆器連合協同組合
43	平成20(2008)年	輪島漆器商工業協同組合	越前漆器協同組合	秋田県漆器工業協同組合
44	平成21(2009)年	香川県漆器工業協同組合	輪島漆器商工業協同組合	伝統工芸高岡漆器協同組合
45	平成22(2010)年	秋田県漆器工業協同組合	香川県漆器工業協同組合	越前漆器協同組合
46	平成23(2011)年	越前漆器協同組合	伝統工芸高岡漆器協同組合	山中漆器連合協同組合
47	平成24(2012)年	越前漆器協同組合	香川県漆器工業協同組合	輪島漆器商工業協同組合
48	平成25(2013)年	越前漆器協同組合	輪島漆器商工業協同組合	香川漆器工業協同組合
49	平成26(2014)年	—	越前漆器協同組合	香川漆器工業協同組合
50	平成27(2015)年	越前漆器協同組合	山中漆器連合協同組合	輪島漆器商工業協同組合
51	平成28(2016)年	山中漆器連合協同組合	香川県漆器工業協同組合	越前漆器協同組合
52	平成29(2017)年	越前漆器協同組合	香川県漆器工業協同組合	山中漆器連合協同組合
53	平成30(2018)年	越前漆器協同組合	輪島漆器商工業協同組合	木曾漆器工業協同組合

※桂宮賞について：第21回までは高松宮賞 第22回は三笠宮賞として下賜。第49回展はご逝去により未交付。

第 53 回「全国漆器展」審査講評

平成 30 年 10 月 15 日制作

制 作 日本漆器協同組合連合会 事務局

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町二丁目 15 番 2 号 松島ビル 4F

一般財団法人生活用品振興センター内

TEL 03-3639-8882 FAX 03-3639-8880 E-mail info@shikki.or.jp

URL <http://www.shikki.or.jp/>

本資料を引用・転載する場合は、制作宛にご一報ください。

なお、日本漆器協同組合連合会会員においてはこの限りではありません。